

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	雨水活用建築技術規準刊行小委員会	主 査 名：神谷 博 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (水環境運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：西川豊宏
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2011 年に作成した AIJES 雨水活用建築ガイドラインを発展させ、数値規準を盛り込んだ AIJES 雨水活用技術規準を刊行する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：神谷 博 (法政大学兼任講師) 幹事：屋井裕幸 (雨水貯留浸透技術協会)、村川三郎 (広島大学名誉教授)、小川幸正 (大林組)、大西和也 (タニタハウジングウェア)、委員：岡田誠之 (東北文化学園大学)、早坂悦子 (東京・洗剤プロジェクト)、青木一義 (西原衛生工業所)、山田岳之 (糺ノ森環境政策研究所)、福岡孝則 (神戸大学) 笠井利浩 (福井工業大学)、森 孝 (三栄水栓)	
設置 WG (WG 名：目的)	無	
2015 年度予算	円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	12 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. AIJES 「雨水活用建築技術規準」
講習会	1. 講習会「日本建築学会環境規準 雨水活用建築技術規準」参加者数 54 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 39 回水環境シンポジウム「雨水活用技術規準の策定と雨水法制定」 資料名：同上 参加者数 50 名
大会研究集会	1. なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. 「雨水活用建築技術規準」パブリックコメント実施
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	AIJES 「雨水活用技術規準」の出版に向けて印刷段階に入りほぼ目的を達成した
委員会活動の問題点 ・課題	規準出版後にこれが活かされるような活動を行う必要がある

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>目的とした出版に至る行程を全て踏まえ、出版と講習会が実施できる見通しとなった。シンポジウムでも活発な議論が行われ、国や東京都も参加して今後の展開にも繋がるよい実績が得られた。出版に至るまでに、小委員会メンバーのミニトド先ず、外部からも多くのメンバーが参画して規準を練り上げることができた。先行して 2011 年に出版した「雨水活用建築ガイドライン」除き右辺として、ガイドラインで到達できなかった数値根拠を示せたことで、これまでの活動の総まとめができた。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。